基本事業評価表

基本事業名称	公共施設の有効活用

総合計画の位置付け

政策名称 参加と行政による協働のまちづくり 施策名称 行財政の効率化の推進

課コード 106 関係課名 総務課 主管課名

基本事業の目的

行政サービスの拠点となる庁舎を適正に管理することで、庁舎の利用年数の向上を図るとともに、住民に満足してもら

		保を目指す		~		. (7) Д	-> 1 1 7 1 1	∓剱の向上を凶る	VCC 01-(II V	1-11-12-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-	
					基本	事業(の成。	果			
成果指標名称 1			使用可能日数				成果指標名称 2				
成果指標の積算根拠			使用可能日数÷年間日数				成果指	がける はまた はまた はまた はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい			
目標達成年度			単年度			目標達成年度					
目標達成数値			365日			目標達成数値					
年 度				H17 H18		18	H19	H20	H21		
	目	標 A		日	365	36	55	365	365	365	
成 果 指標1	実	績 B	単 位	日	365	36	55	365	365		
10177	達成図	率 B/A	122	%	100.0	100	0.0	100.0	100.0		
b ==	目	標 A									
成 果 指標2	実	績 B	単 位								
	達成率	率 B∕A		%							
1次評価	現状	軽微な修繕、改修についてはその都度対応できており、庁舎管理全体としては特に問題はない。また、平成20年度実施事業で停電時の対策として本庁の予備電力を確保し窓口業務等の住民サービスへの支障がないよう整備している。									
	課題	本庁の予備電力は確保できたが、町内全域停電の場合は対応できないので、今後は自家用発電機による電力確保が必要である。									
	改善	庁舎の適正管理ができるよう計画的に予算を確保することにより、自家用発電機の確保、施設修繕等の対応を行う。									
2次評価 施設の老朽化が進むにつれ、庁舎施設の維持補修経費が今後見込まれてくる。通で、計画的に維持補修を図っていくこと。							まれてくる。適፲	Eな管理の下			
住民等0	 D意見										
町の対	町の対応										